

平成18年度

決算の概要

姫路市

目 次

1. 一般会計	1
ア 対前年度比較(総括)	1
イ 構成比	2
ウ 対予算比較(款別)	3
2. 特別会計	5
3. 企業会計	6
4. 普通会計財政分析表	7
5. 基金・地方債	8

1 一般会計

姫路市の平成18年度決算は、1市4町合併後初の一体的な決算であり、各種事業を着実に推進した結果一般会計の歳入が1,961億4,591万円、歳出が1,868億8,509万8千円で、形式収支は92億6,081万2千円、ここから翌年度への繰越財源24億9,855万3千円を差し引いた実質収支は67億6,225万9千円となり、昭和43年度以来39年連続の黒字となった。

(単位 千円)

区分	歳入決算額	歳出決算額	形式収支	繰越財源	実質収支
一般会計	196,145,910	186,885,098	9,260,812	2,498,553	6,762,259

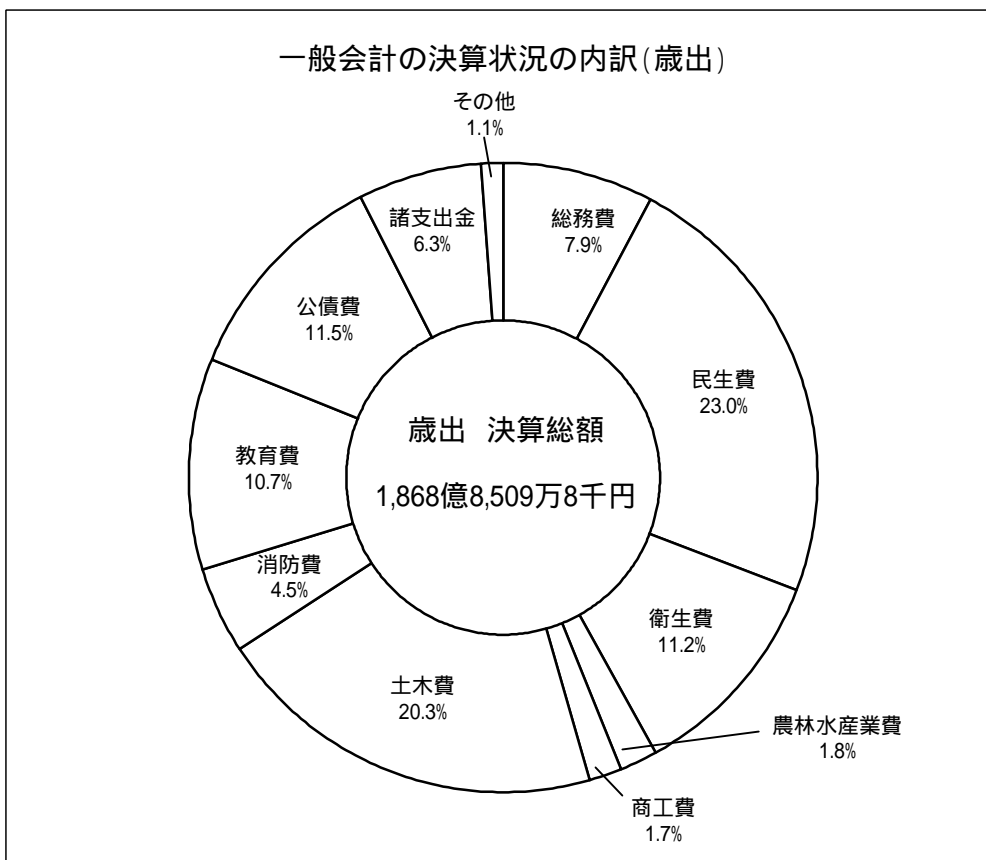
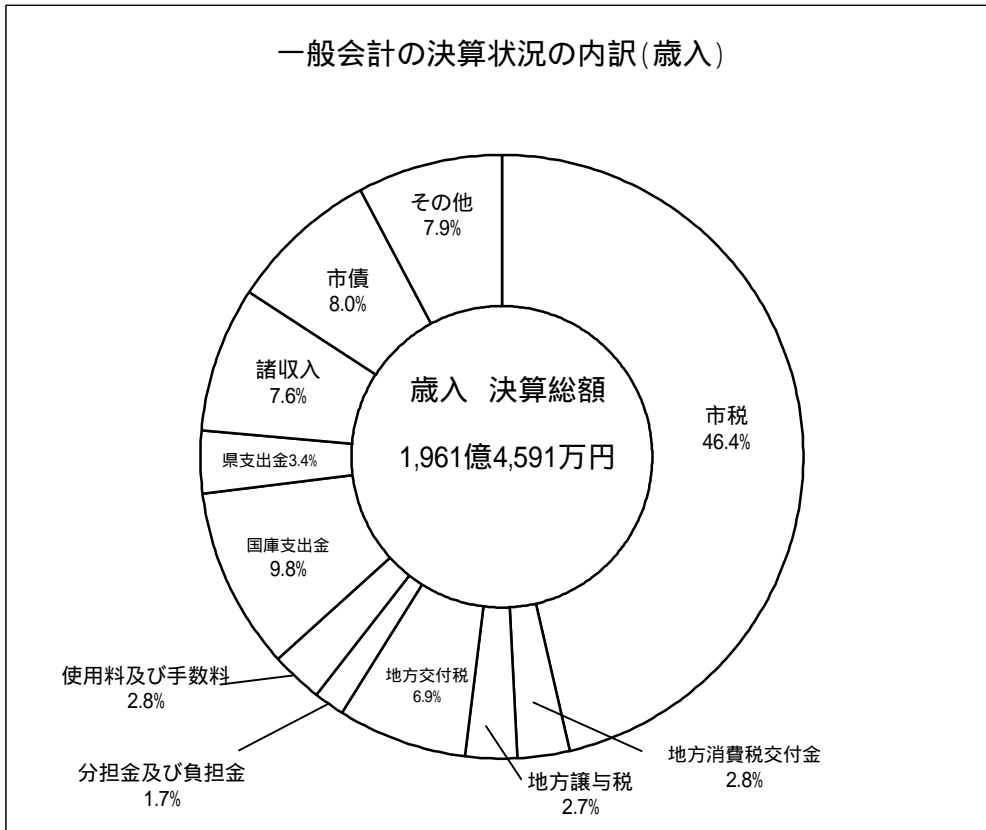
ア 対前年度比較(総括)

(単位 百万円、%)

事項	18		17		比較	
	決算額	執行率	決算額 F	執行率	金額 G	増減率 G/F
歳入 A	196,146	93.5	179,759 (205,666)	96.6	16,387	9.1
歳出 B	186,885	89.1	171,504 (196,682)	92.2	15,381	9.0
形式収支(A-B) C	9,261	/	8,255 (8,984)	/	1,006	12.2
繰越財源 D	2,499		1,416 (1,416)		1,083	76.5
実質収支(C-D) E	6,762		6,839 (7,568)		77	1.1
翌年度への繰越額	9,748	93.7	3,463 (3,463)	94.1	6,285	181.5

(注) 平成17年度決算額は合併引継分を含む旧姫路市、()内は旧4町打切決算を加えた額。

イ 構成比



ウ 対予算比較（款別）

（歳入）

（単位 千円、％）

款名	予算現額	調定額	決算額	不納欠損額	収入未済額	執行率
市税	89,300,000	97,243,828	91,081,703	584,243	5,577,882	102.0
地方譲与税	5,362,000	5,282,808	5,282,808			98.5
利子割交付金	210,000	291,348	291,348			138.7
地方消費税交付金	5,270,000	5,501,303	5,501,303			104.4
ゴルフ場利用税交付金	90,000	95,212	95,212			105.8
自動車取得税交付金	1,200,000	1,293,206	1,293,206			107.8
配当割交付金	232,000	398,994	398,994			172.0
株式等譲渡所得割交付金	240,000	365,657	365,657			152.4
国有提供施設等所在市助成交付金	6,400	6,713	6,713			104.9
地方特例交付金	2,235,000	2,306,928	2,306,928			103.2
地方交付税	12,700,000	13,485,735	13,485,735			106.2
交通安全対策特別交付金	128,000	137,203	137,203			107.2
分担金及び負担金	3,487,926	3,354,967	3,281,769	11,359	61,839	94.1
使用料及び手数料	5,921,823	5,685,068	5,567,919	1,939	115,210	94.0
国庫支出金	22,773,096	22,401,560	19,188,482		3,213,078	84.3
県支出金	7,072,761	6,701,178	6,642,578		58,600	93.9
財産収入	2,949,982	1,870,975	1,870,808		167	63.4
寄附金	286,229	234,047	234,047			81.8
繰入金	307,071	166,861	166,861			54.3
繰越金	6,254,278	8,254,278	8,254,278			132.0
諸収入	15,395,668	15,684,193	14,998,358	39,119	646,716	97.4
市債	28,329,100	15,694,000	15,694,000			55.4
合計	209,751,334	206,456,062	196,145,910	636,660	9,673,492	93.5

(歳出)

(単位 千円、%)

款名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	現年度執行率	繰越を含めた執行率
議会費	1,023,385	978,474		44,911	95.6	95.6
総務費	16,443,293	14,745,280	123,239	1,574,774	89.7	90.4
民生費	46,116,916	42,904,390	220,828	2,991,698	93.0	93.5
衛生費	26,115,962	21,022,906	4,013,985	1,079,071	80.5	95.9
労働費	939,254	920,749		18,505	98.0	98.0
農林水産業費	3,839,485	3,269,819	254,700	314,966	85.2	91.8
商工費	3,380,343	3,150,904		229,439	93.2	93.2
土木費	46,476,940	38,028,189	4,330,438	4,118,313	81.8	91.1
消防費	8,715,180	8,399,956		315,224	96.4	96.4
教育費	21,934,613	19,970,273	805,240	1,159,100	91.0	94.7
災害復旧費	333,578	181,883		151,695	54.5	54.5
公債費	22,235,954	21,467,807		768,147	96.5	96.5
諸支出金	12,032,697	11,844,468		188,229	98.4	98.4
予備費	163,734			163,734		
合計	209,751,334	186,885,098	9,748,430	13,117,806	89.1	93.7

2 特別会計

平成18年度特別会計の決算について、13特別会計合計では、歳入が1,482億1,079万6千円、歳出が1,448億4,146万2千円で差し引き、形式収支33億6,933万4千円、翌年度への繰越財源204万3千円を差し引いた実質収支は33億6,729万1千円の黒字となった。会計別では、食肉センター事業特別会計、老人保健医療事業特別会計及び駐車場事業特別会計で赤字決算となっている。

(単位 千円)

会計名	歳入決算額	歳出決算額	形式収支	繰越財源	実質収支	不納欠損額	収入未済額
中央卸売市場事業	1,062,787	935,143	127,644		127,644		1,597
下水道事業	30,143,576	30,143,494	82	82	0	16,554	1,456,523
水洗便所普及奨励事業	75,181	75,181	0		0		10,930
集落排水事業	831,266	790,718	40,548	45	40,503		31,065
食肉センター事業	207,022	315,155	108,133		108,133		
母子・寡婦福祉資金貸付	90,233	57,228	33,005		33,005		37,351
国民健康事業勘定	51,466,871	47,977,012	3,489,859		3,489,859	820,895	2,679,301
保険事業直営診療施設勘定	279,645	166,566	113,079		113,079		
介護保険事業	25,346,998	24,306,620	1,040,378	1,916	1,038,462	65,483	230,765
老人保健医療事業	38,321,789	38,650,488	328,699		328,699		
奨学学術振興事業	19,921	19,921	0		0		
財政健全化調整	61,415	57,973	3,442		3,442		
駐車場事業	230,079	1,271,950	1,041,871		1,041,871		
土地取得	74,013	74,013	0		0		
合計	148,210,796	144,841,462	3,369,334	2,043	3,367,291	902,932	4,447,532

対前年度比較(総括)

(単位 百万円、%)

事項	18		17		比較	
	決算額	執行率	決算額 F	執行率	金額 G	増減率 G / F
歳入 A	148,211	92.5	138,040 (151,407)	95.2	10,171	7.4
歳出 B	144,841	90.4	135,444 (148,320)	93.4	9,397	6.9
形式収支(A-B) C	3,370		2,596 (3,087)		774	29.8
繰越財源 D	3		170 (170)		167	98.2
実質収支(C-D) E	3,367		2,426 (2,917)		941	38.8
翌年度への繰越額	3,012	92.3	2,495 (2,495)	95.1	517	20.7
実質収支の赤字会計 (億円)	食肉センター 老人保健 駐車場	1.1 3.3 10.4	食肉センター 老人保健 駐車場	1.8 1.2 9.3		

(注) 平成17年度決算額は合併引継分を含む旧姫路市、()内は旧4町打切決算を加えた額。

3 企業会計

平成18年度企業会計決算では、4会計のうち、水道事業会計及び 夢前区域コミュニティ・プラント事業会計の2会計が黒字となり、交通事業会計及び都市開発整備事業会計の2会計が赤字となった。

(1) 水道事業

(単位:千円)

	収益的収支			資本的収支		
	収入	支出	収支	収入	支出	過不足
予算額(A)	11,063,610	10,914,850	148,760	3,359,203	6,041,796	2,682,593
決算額(B)	10,892,125 (10,412,822)	10,446,942 (10,075,565)	445,183 (337,257)	2,357,715 (2,348,302)	4,973,174 (4,855,836)	2,615,459 (2,507,534)
(A)-(B)	171,485	467,908	296,423	1,001,488	1,068,622	67,134

(注) 決算額(B)欄の()内は、消費税及び地方消費税を除く額

(2) 交通事業

(単位:千円)

区分	収益的収支			資本的収支		
	収入	支出	収支	収入	支出	過不足
予算額(A)	2,185,301	2,185,231	70	3,971	267,275	263,304
決算額(B)	2,026,794 (1,986,546)	2,051,975 (1,993,145)	25,181 (6,599)	38,929 (20,110)	245,146 (245,077)	206,217 (224,967)
(A)-(B)	158,507	133,256	25,251	34,958	22,129	57,087

(注) 決算額(B)欄の()内は、消費税及び地方消費税を除く額

(3) 都市開発整備事業

(単位:千円)

区分	収益的収支			資本的収支		
	収入	支出	収支	収入	支出	過不足
予算額(A)	1,638,237	1,629,349	8,888		971,316	971,316
決算額(B)	1,361,463 (1,360,694)	1,400,821 (1,400,052)	39,358 (39,358)		425,778	425,778
(A)-(B)	276,774	228,528	48,246		545,538	545,538

(注) 決算額(B)欄の()内は、消費税及び地方消費税を除く額

(4) 夢前区域コミュニティ・プラント事業

(単位:千円)

区分	収益的収支			資本的収支		
	収入	支出	収支	収入	支出	過不足
予算額(A)	934,045	931,611	2,434	504,941	1,054,335	549,394
決算額(B)	922,391 (910,125)	883,681 (850,316)	38,710 (59,809)	512,861 (512,861)	1,045,768 (1,045,007)	532,907 (532,146)
(A)-(B)	11,654	47,930	36,276	7,920	8,567	16,487

(注) 決算額(B)欄の()内は、消費税及び地方消費税を除く額

4 普通会計財政分析表

(単位 千円、%)

分析項目	18年度	17年度	16年度	算式
財政力指数 ()内は単年度の財政力指数	0.849 (0.882)	0.825 (0.845)	0.867 (0.875)	$\frac{\text{単年度財政力指数}}{\left(\frac{\text{基準財政収入額}}{\text{基準財政需要額}} \right)}$ の3年度間の平均値
経常一般財源比率 ()内は減税補てん債を経常一般財源収入額から除いた比率	103.2 (102.5)	104.3 (103.4)	104.4 (103.2)	$\frac{\text{経常一般財源収入額}}{\text{標準財政規模}} \times 100$ (臨時財政対策債、減税補てん債を加えた額) (臨時財政対策債発行可能額を加えた額)
経常収支比率	80.0	79.7	78.8	$\frac{\text{経常経費充当一般財源}}{\text{経常一般財源総額}} \times 100$ (臨時財政対策債、減税補てん債を加えた額)
実質収支比率	5.9	5.3	5.3	$\frac{\text{実質収支額}}{\text{標準財政規模}} \times 100$ (臨時財政対策債発行可能額を加えた額)
公債費比率	12.6	13.1	13.7	$\frac{\text{地方債元利償還充当一般財源} - \text{災害復旧費等に係る基準財政需要額算入公債費}}{\text{標準財政規模} - \text{災害復旧費等に係る基準財政需要額算入公債費}} \times 100$ (臨時財政対策債発行可能額を加えた額)
起債制限比率 ()内は単年度の起債制限比率	9.9 (9.7)	10.0 (9.9)	10.8 (10.6)	$\frac{\text{地方債元利償還充当一般財源} - \text{災害復旧費等に係る基準財政需要額算入公債費} - \text{事業費補正に係る財政需要額算入公債費}}{\text{標準財政規模} - \text{災害復旧費等に係る基準財政需要額算入公債費} - \text{事業費補正に係る財政需要額算入公債費}} \times 100$ の3年度間の平均値
実質公債費比率 ()内は単年度の実質公債費比率	15.3 (15.3)	15.3 (14.9)	- (-)	$\frac{(A + B) - (C + D)}{E - D} \times 100$ A：地方債元利償還金(繰上償還等を除く) B：地方債の元利償還金に準ずるもの C：元利償還金又は準元利償還金に充てられる特定財源 D：普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された地方債の元利償還金 E：標準財政規模(臨時財政対策債発行可能額を加えた額) の3年度間の平均値

(注)18年度及び17年度は1市4町、16年度は旧姫路市で算出。

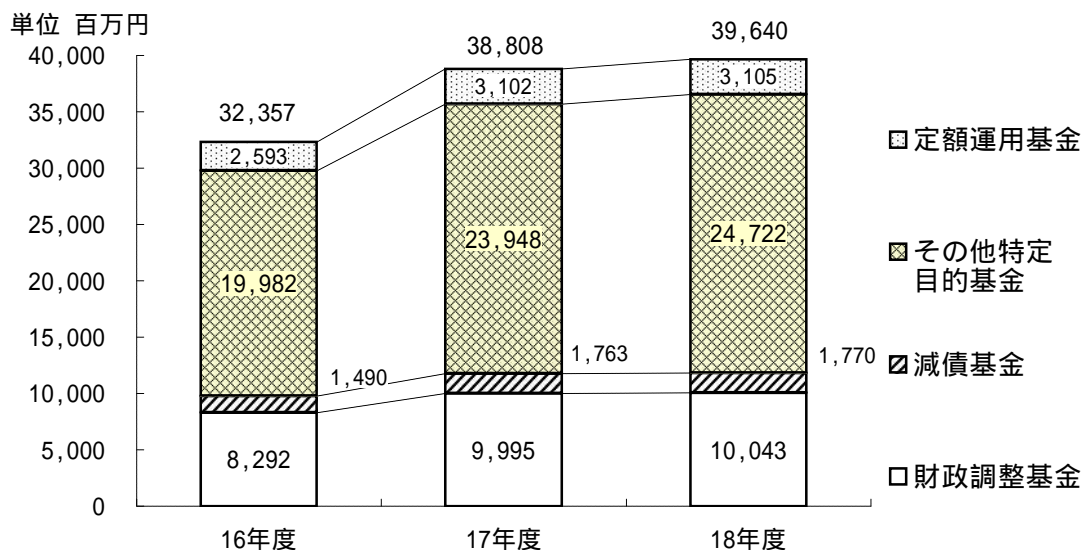
5 基金・地方債

(1) 基金年度末現在高の推移(平成16年度～18年度)

基金の18年度末現在高は396億3,997万7千円で、前年度比 8億3,195万4千円の増となった。

(単位 千円)

区 分	平成16年度末現在高	平成17年度末現在高	平成18年度末現在高
財政調整基金	8,292,144	9,994,892	10,043,045
減債基金	1,490,078	1,763,452	1,769,820
その他特定目的基金	19,981,532	23,947,953	24,722,250
定額運用基金	2,593,458	3,101,726	3,104,862
合 計	32,357,212	38,808,023	39,639,977



(2) 地方債年度末現在高の推移(平成16年度～18年度)

地方債の18年度末残高は企業会計も含めた全会計で、4,286億215万1千円と、前年度比 96億3,881万3千円の減となった。

(単位 千円)

区 分	平成16年度末現在高	平成17年度末現在高	平成18年度末現在高
一般会計	165,138,309	190,991,499	189,841,894
特別会計	198,168,042	207,689,262	201,674,423
企業会計	27,442,452	39,560,203	37,085,834
合 計	390,748,803	438,240,964	428,602,151

